

# 『糖尿病性腎症の治療でのアルドステロンブロッカーの位置づけ』

糖尿病性腎症の治療として厳格な血圧コントロールは大切である。RA系抑制薬が第一選択薬であるが、それだけでは充分ではない。本セミナーではアルドステロンブロッカー（スピロノラクトン、エプレレノン）の位置づけをまとめる。



## 糖尿病性腎症の治療での アルドステロンブロッカーの位置づけ

**座長** 片山 茂裕 先生

埼玉医科大学病院 病院長

**演者** 佐藤 敦久 先生

国際医療福祉大学三田病院 内科 教授

**日時** 2010年5月29日(土) 12:00~12:50

**会場** 第19会場 (国際交流センター 2F 国際会議場)

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

本セミナーは事前予約制でございます。  
ご予約がお済みの方から優先的にご入場いただけます。  
詳細は当日ご確認ください。